

実践研究フォーラム
学校管理職養成の国際的動向を問う

第Ⅲ期実践推進委員会

司会 元兼 正浩（九州大学） 曾余田浩史（広島大学）

第Ⅲ期実践推進委員会として初年次であった昨年6月の筑波大会では「校長の専門職基準」再検討の方向性を問う」として、まずは専門職基準をめぐる現状と課題を把握・整理し、今後どのような方向で検討していくべきかについて会員の意見を聴取するフォーラムを企画した。今回は「専門職基準」等も含め学校管理職の養成・研修を各国がどのように行っているか、その国際的な動向を確認する。これまでも幾度か同趣旨のシンポジウムが企画されたことがあるが、今回は特に東アジアの二カ国（中華人民共和国および大韓民国）が欧米の動向をどのように掌握し、プロフェッショナル・スタンダード等を研究しつつも独自の管理職養成システムをいかに構築しているかについて報告してもらおう。このような近隣諸国の動向を踏まえながら、教員年齢構成が歪となった日本の管理職養成のあり方、教職大学院化で実務家教員が一層拡充される中での教育経営教育・研究のあり方、さらには実践研究のあり方にまで思いを馳せながら忌憚のない議論を期待したい。（文責：元兼正浩）

10:45~10:50

本フォーラムの趣旨説明 元兼正浩（九州大学／実践推進委員会委員長）

10:50~11:10

米国における学校管理職養成と専門職基準 大野裕己（兵庫教育大学／実践推進委員）

11:10~11:30

英国における学校管理職養成と専門職基準 金川舞貴子（岡山大学／実践推進委員）

11:30~11:50

中国における学校管理職養成と専門職基準 李昱輝（上海教育大学）

11:50~12:10

韓国における学校管理職養成と専門職基準 梁鎬錫（大韓民国教育部）

12:10~12:40

質疑応答、意見交換

12:40~12:45

今後の検討の方向性について 曾余田浩史（広島大学／実践推進委員会副委員長）